

当会会員の（株）ワールド山内（北広島市）が、平成30年4月6日(金)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

ワールド山内 溶接精度向上

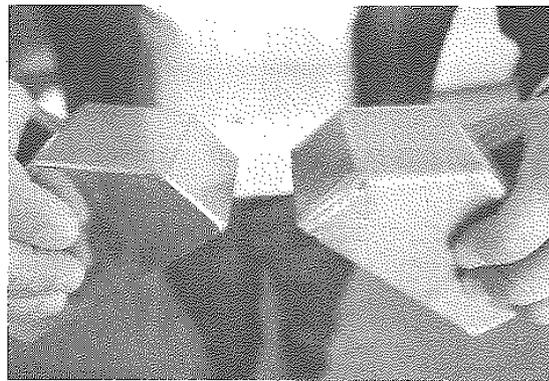
ファイバーレーザー機導入

半導体・航空機部品狙う

【札幌】ワールド山内（北海道北広島市、山内雄矢社長、011・377・5766）は、半導体製造装置や航空機部品関連の加工向けに生産体制を強化する。2018年中にファイバーレーザー溶接機やロボットファイバーレーザー溶接システムなどを導入し、加工の精度向上や生産効率化を図る。投資額は総額約3億2000万円の予定。

アマダ製のファイバ
ーレーザー溶接機2台
やロボットファイバ
ーレーザー溶接システ
ムのほか、ダイヘン製の
ロボット溶接機を4
5月に3台導入する。

今回で所有するロボッ
ト溶接機は計10台とな
る。ステンレスや銅と
いった異種金属の溶接
向けや、薄板でも歪み
が出ないようにするな
ど、精度の高い溶接を



ファイバーレーザー溶接による加工品⑤

実現していく。
ワールド山内は、独自の生産管理システムを構築しており、IoT（モノのインターネット）を活用した生産現場づくりに力を入

ている。導入する新たな機械設備も社内のネットワークに接続。IoTを活用して作業者に技能の差があっても安定した加工ができる体制にする。

山内社長は電車の車両部品などでも高精度加工の需要があると見ており、「さらに難しい加工にも対応していきたい」と意気込む。ワールド山内は、アマダスクール主催の「第30回優秀板金製品技能フェア」で厚生労働大臣賞を受賞している。